



NEWS

Fukuoka Foreign
Trade Association

福岡貿易会 会員広報誌

発行・編集／社団法人 福岡貿易会
〒812-8505福岡市博多区博多駅前2-9-28
福岡商工会議所ビル7階
TEL.092-452-0707 FAX.092-452-0700
E-mail: info@fukuoka-fta.or.jp

vol.13

新年明けましておめでとうございます。



年 頭 ご 挨拶

社団法人 福岡貿易会
会 長 並田 正一

新年、明けましてお目出とうございます。

会員の皆様方には昨年何かと会の運営、発展にご支援、ご協力を賜わり有難うございました。本年も昨年以上のお力添えをお願い申し上げます。

当会は一昨年設立50周年を機に、より充実した会の運営を目指して参りましたが、昨年は厳しい不況にもかかわらず、20社を上回る新会員にご加入いただき、総会員数も昨年末で273社を数えるまでになって来ました。地域貿易の振興という当会の地道な活動が認められて来ていることを肌で感ずる次第です。

さて、昨年は戦後初めての本格的政権交代が行われるなど大きく時代が変わって来たことを実感させる年でした。経済的にはリーマン・ショック以降の世界的な景気低迷に対し、各国が揃って景気対策を行ったこともあり、多少、明るさも見え始めて来ましたが、後半になり円高や景気対策の息切れなどで“二番底”の心配が出て来るなど予断を許さない状況になって来ました。

今年もその流れで景気の先行きは不透明感が強まっていますが、その中で中国、インド等の新興諸国との経済連携による景気浮揚の必要性が強く言われ始めております。当会では福岡市が中国、東南アジアなど経済成長の著しい地域に近いという利点を生かして、国際的な連携を強化することにより、地域経済の活性化を図れるような環境作りに一層努力する所存でございます。

特に今年は懸案の「韓国語講座」もスタートし、昨年V字型の景気回復となった韓国との経済交流拡大の一助となればと思っております。又、各種セミナー、相談事業、講演会、交流会、海外視察等を一層充実、強化し皆様の当会への期待にお答えして行く方針です。

最後になりますが、会員の皆様にとりまして、今年がこれまで以上に良い年となることを心より祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

CONTENTS

平成21年度 会員交流会報告	1~2P
寄稿「中国雑感」	3P
上海事務所だより	4P
セミナー報告・今後開催予定のセミナー	5~6P
会員企業紹介	6P~裏表紙

平成21年度 会員交流会

当会恒例の年末交流会は、第1部講演会、第2部懇談会の二部形式で開催しました。

第1部の講演会は、経済産業省九州経済産業局の橘高公久局長に「九州地域の活性化に向けて」と題して、世界経済の見通し、日本・九州の経済状況及び経済産業省の国際経済施策の進展等を中心に、熱のこもったご講演をいただきました。

引き続き行われた第2部の懇談会には、吉田宏福岡市長、橘高九州経済産業局長、福岡県並びに在福の外国公館等から多数のご来賓に参加いただき、例年にも増して盛会に行うことができました。

- 日 時 : 平成21年12月9日(水) 17:00~19:00
- 場 所 : 西鉄グランドホテル 「プレジール」
- 出席者 : 約120名

第1部 講演会

<講演要旨>

「日本経済の成長と活力向上の方向性」、「九州における経済活動の国際化動向」を柱としてご講演をいただきました。

- (1) 今後の世界人口の増加と経済成長は、アジアを中心とした途上国の比重が高く、経済成長に伴う、アジアの途上国の中間層(ボリュームゾーン)の急速な増加と環境問題への対応が、日本にとって重要になってくる。
- (2) これらの状況を踏まえ、日本の新たな成長戦略の策定の重点として ①アジアとともに一体となった成長 ②地球温暖化対策をチャンスとして成長 ③国民が成果を実感できる成長等の方向を示され、東アジアにおける経済連携の動き、特に日ASEAN包括的経済連携(AJCEP)についてその意義を強調された。さらに、APECをはじめとするアジアとの連携の動き、九州経済産業局独自の取り組みとして中・韓との経済交流事業を推進する等 経済産業省が国際経済施策に積極的に取り組まれていることを説明された。
- (3) 九州は、日本の他地域に比べて、貿易・人的交流・海外進出企業数・留学生の比率等いずれをとってもアジア度が高く、さらにこれまでの環境技術の蓄積を生かす等国際化のポテンシャルが高い。しかしながら、企業の今後のアジア展開を図る上では、留学生等の海外高度人材の活用や国際人材の厚みが必要であり、さらに一層の努力が必要ではないかと問題提起をされた。また九州で国際ビジネスを展開されている企業の事例紹介をされた。

九州経済産業局としても、地場企業に情報提供等の支援を惜しまないこと、企業の皆様の声を本省にも伝えていきたいこと、そのためには、福岡貿易会等関係機関との連携を図っていきたいとして、講演を締めくくられた。



開会挨拶：並田会長



講演講師：橘高 公久 九州経済産業局長

第2部 懇談会

第2部司会者



来賓祝辞：吉田 宏 福岡市長



乾杯：渡邊副会長



(株)アジュール・インターナショナル
桂 青良 副社長 (当会会員)



来賓紹介 (在福外国公館・貿易機関、行政関係)



懇談会場



閉会：博多手一本
(中央：角川副会長、左：濱野副会長、右：津田副会長)

寄稿

中国雑感



三井物産(株) 常務執行役員九州支社長
渡邊 清孝 (福岡貿易会副会長)

経済は「労働力人口の増加」「資本投下」「生産性向上」の3つによって成長します。この3つを兼ね備えているのが中国であり、中国を中心とするアジアに日本は軸足を置くようになりました。日本企業の収益の5割以上はアジアで稼ぐようになり、これは米国依存から脱皮したと言えます。

米国のウォールストリートジャーナルとNBCの共同世論調査によると(2009年12月18日発表)、3分の2以上が米国の国力が低下していると感じており、39%が20年以内に中国がトップの国になると信じ、「米国を越える」との結果となりました。また、2009年5月に日中の有識者団体、北京-東京フォーラムが行った両国での世論調査では、2050年までに中国が米国に並ぶ、或いは超える大国となっていると回答した人が日本人では51%、中国人では82%に上っています。

私にとっても中国は訪れる機会が多く、又、色々な形で交流も多いのですが、訪問するたびにその変化にいつも驚かされます。2009年秋にも中国を何ヵ所か訪問しましたが、港湾関係で今回特に印象に残った、興味が深かった事を一件だけ紹介させていただきます。

それは北京の外港としての天津の発展です。北京からは新幹線で30分なのですが、北京に於いてはその新幹線のために、何もなかった地区に新しい駅を造り、又、天津でも従来のダウンタウンの駅から新しく開発中の港までを、一駅ですが延長建設中です。

その天津での港湾の開発は、本当に「百聞は一見にしかず」でした。天津市の職員(女性)が案内してくれたのですが、まず開発計画の模型ジオラマに驚かされました。大きなビルのワンフロア全部が美しく、ライトも点滅するジオラマで中国風といえば中国風ではありますが、そのジオラマの見物に中国人が貸し切りバスで押し寄せてきており、見るべきものが少ない天津では、観光名物となっているそうです。また驚くのはその内容にあります。上海の浦東の新しい経済発展地区と、そこに30kmの橋でつながっている洋山港のコンテナヤードのことはご存知の方も多いかもしれませんが、その特区にも同じようなジオラマがあり、天津のジオラマとこの計画は、上海の5倍以上はあるかと思えます。

40FTコンテナを同時に2個操ることが出来るクレーンが林立する洋山港のコンテナヤードに負けない規模の計画を、天津港は目指しています。洋山港は上海沖に浮かぶ小さい漁村だったのですが、そこを爆破して平地にし、さらに30kmの橋をかけてコンテナ港にし、世界一の取扱量を目指しています。中国は「いつの間にか出来る、完成してしまう」で、インドの「いつかは出来るでしょう、遅々として進む」とは好対照です。その他の青島、煙台、大連等の発展も見るたびに、本当にいつの間にか進んでいるのです。きっと内陸も、同様のスピードで発展しているでしょうから、毎年のGDPが10%程度の成長なのはわかりますし、この中国との取り組み方は日本人全員がよく考える必要があると思います。「日本沈没」の前に今すぐに国内外で取り組まなければならない事が多くあるのに、と心配です。



天津港ジオラマ



洋山港(上海)

上海事務所だより

中国での販路拡大について

福岡貿易会上海代表処 小柳芳隆

昨年11月、広州ジャスコにて福岡九州フェアというイベントを開催いたしました。

福岡アジアビジネス支援協議会（福岡商工会議所、福岡市、ジェトロ福岡、福岡貿易会）がイオンサウスチャイナと連携して実施しました。当日は22社の九州食品メーカーにご出展いただき、無事に二週間の会期を終えることができました。結果は、107アイテム、計106千元（約138万円）の売り上げでした。この結果をどう見るかは意見が分かれるところですが、少なくとも爆発的に売れたとまでは言えない状況です。

最近中国市場に進出したいという食品企業が増えていると感じます。上海に駐在する私としては嬉しいことですし、ぜひがんばっていただきたいと思います。しかし、必ずしも皆様が期待するほどは売れないという厳しい現状があるのも事実です。

通関の問題を別にすると、日本の食品販売を困難にしている最も大きな要因は価格だと感じています。中国にモノを輸出して販売する際、物流費、関税、増値税などの諸経費が発生します。加えて、商社、卸、小売りなど各段階で手数料がかかります。結果、実際に店頭に並ぶ時には出荷価格の2倍から3倍の値段となります。

日本製品に対しては高品質、安全、安心といったブランドが確立していますし、富裕層を中心に購買力が高い人も増えています。実際、上海久光百貨店の顧客の9割は中国人と聞いています。

しかし、富裕層も日本製であれば何でも買うというものではありません。自分が納得したものしか買いません。価格と品質の間にはやはり合理性が必要です。例えば、デパートの食品売り場には日本からの輸入品、日系企業の現地生産品、現地商品の同じような商品が並んでいます。高価な輸入品を選んでもらうにはそれなりの動機づけが必要です。

富裕層の方も日本で100円で売っているモノを200円で買うのは抵抗を感じます。最近では日本に旅行したことがある人も多く、ネット販売も充実していますので、日本の相場も知られています。また、富裕層が多い地域はありますが、富裕層だけが住む地域というのではなく、所得が高い人低い人混住しているケースがほとんどです。買うものは違うにしろ、同じ生活感、相場観の中で生活しているわけで、現地商品との明確な差別化が必要です。

現地商品との差別化は食品の場合は食べてもらうのが一番早いです。デパートのフェアや展示会などで地道な販促活動が不可欠だと考えています。商社の方とよくお話しますが中国で成功している企業の多くは直接販促活動に携わっています。商社や代理店に任せるのではなく、地道にイベントや販売店回りを繰り返しています。販促活動を通じて、中国人の嗜好や習慣を汲み取り、商品の質は変えないまでも見せ方を工夫するなど中国市場への浸透を図っています。

私が知る限り、中国に来てすぐに爆発的に売れたという話は聞いたことがありません。浸透には時間がかかります。理想を言えば、3年から5年かけて認知度を高めて、最終的には現地生産も視野に入れた販売計画が必要だと考えます。

中国に商機があるのは間違いありませんし、新しい市場を作り出すことも可能だと思います。まずは中国市場を実際にご覧いただき、受け入れられそうな商品や価格など探っていただきたいと思います。当所でもできる限りのお手伝いはさせていただきますのでどうぞお気軽にご連絡いただければと思います。



●「貿易業務新任者フォローアップセミナー」

<日 時> 平成21年12月3日(木)14:00~16:30
 <ところ> 福岡商工会議所6F 605会議室
 <講師> 山九株式会社 九州エリア開発営業部 部長代理 松浦 遼 氏
 <内 容> 輸入手続きの迅速化について・輸入を迅速に進めるための事例研究

参加者のことばより

*私は6年間も輸入通関(乙仲)の仕事をしていますが、事務的な処理をするだけで貨物の流れがよく分かっておらず今回受講することになりました。特に最後の方で話されたC&F, CIF, FOBや、FCLとLCLはとても勉強になりました。



●「グローバル人材育成プログラム(インド編)【任国事情・人事・労務管理】」

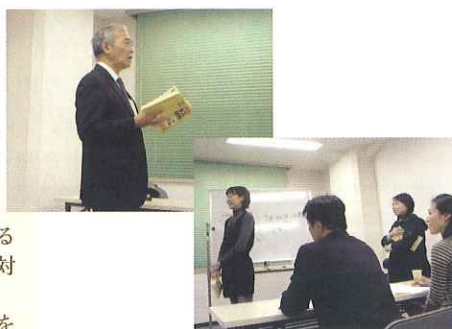
<日 時> 平成21年12月8日(火)~12月10日(木)09:30~16:30 * (財)海外職業訓練協会(OVTA)と共催
 <ところ> 福岡商工会議所 605会議室
 <内 容> 12月8日 インドの概況、日系企業の動向
 12月9日 現地事務所、法人の形態、設立・準備の手続き等
 講師:横井 勲 氏 (財)海外職業訓練協会(OVTA)国際アドバイザー インドインフォメーションセンター代表
 12月10日 インド会計基準及び解釈、インド税制の概要等
 講師:笠間 智樹 氏 (財)海外職業訓練協会(OVTA)国際アドバイザー あずさ監査法人 公認会計士

●ビジネス中国語会話 基礎編

<日 時> 平成21年10月15日(木)~12月17日(木)19:00~20:30
 <ところ> 西日本ビル707会議室
 <講師> 北京・ニーハオ中国語センター 講師 蔣 晶 氏

参加者のことばより

*4月に始めたときには、ピン音すら解らなかったのに、今では、自己紹介もできるようになり自分でも驚いています。これからも中国語を続けて、業務でも電話応対等できるようになりたいと思います。
 *とても丁寧に教えて頂き感謝致しております。途中中国のお話も入り、毎回語学を超えた興味深い時間を過ごせました。



※ロールプレイで審問中の甲斐専務、それを見守る蔣晶先生と受講者の皆さん

今後開催予定のセミナー

☆ビジネス中国語会話 応用編

<日 時> 平成22年1月14日(木)~3月25日(木)
 19:00~20:30 全10回
 <ところ> 西日本ビル302会議室
 <講師> 北京・ニーハオ中国語センター
 講師 蔣 晶 氏
 <内 容> 中級から上級レベルを対象とした中国語による授業。
 商品事情・値段交渉・契約条件等よりビジネスに役立つ会話を練習します。

☆貿易実務講座(実践編) ※JETRO福岡と共催

<日 時> 平成22年1月28日(木)・29日(金)
 10:00~17:00
 <ところ> 福岡ビル9F 第1ホール
 <講師> 株式会社アースリンク
 曾我 しのぶ 氏
 (JETRO認定貿易アドバイザー)
 <内 容> 基礎知識の充実や実務経験内容のステップアップを目指している方を対象とした実務セミナー

☆輸入事業者向け製品安全セミナー

*九州経済産業局・福岡県・福岡県商工会議所連合会と共催

<日 時> 平成22年2月9日(火)13:30~15:30
 <ところ> 福岡県吉塚合同庁舎8F 803会議室
 <内 容> ①製品の安全に関する法令と最近の改正等
 ②重大製品事故情報報告・公表制度と製品リコール
 ③製品事故事例の紹介
 (協力:(独)製品評価技術基盤機構九州支所)

☆「グローバル人材育成プログラム(中国編)【任国事情・法務税務・人事労務管理】」

* (財)海外職業訓練協会(OVTA)と共催

<日 時> 平成22年2月22日(月)~23日(火)9:30~16:30
 <ところ> 福岡商工会議所 601会議室
 <内 容> 任国事情・法務・税務・投資等
 <講師> 仙波 慶子 氏 (財)海外職業訓練協会(OVTA)国際アドバイザー
 (予定) 日中ビジネスサービス有限会社代表

今後開催予定のセミナー

☆インターネット取引セミナー②

*三菱東京UFJ銀行、九州経済産業局、福岡アジアビジネス支援委員会
(福岡市、福岡商工会議所、ジェトロ福岡、福岡貿易会)主催予定


- <日時> 平成22年2月25日(木)午後
- <ところ> 未定
- <内容> 昨年7月に開催したインターネット取引セミナー「インターネット取引から見えてくる中国市場」の第2弾として、「(中国)ネット取引の現状、ネット決済」「アジア(中国)への販路拡大(商談、成功・失敗参考例、ネット活用)」等

☆税関セミナー

- <日時> 平成22年3月11日(木)
14:30~16:30
- <ところ> 福岡商工会議所605会議室
- <講師> 門司税関博多税関支署
支署長 福岡 良一 氏
博多税関支署よりもうお一方(予定)
- <内容> 最近の税関行政等について(予定)


会員企業紹介


◆会員名	有限会社 糸島みるくぷらんと	
◆代表者役職氏名	専務取締役 富永 豊	
◆所在地	〒819-0373 福岡市西区周船寺 1-13-4	
◆TEL	092-807-3911	
◆FAX	092-807-5551	
◆E-mail	info@itomonogatari.com	
◆主要業務	乳製品製造・卸売業 「伊都物語」のブランドで低温殺菌ノンホモ牛乳やのむヨーグルトを製造・販売	
◆当社の特色と 会又は会員企業への 希望について	糸島の酪農家が無農薬の自給飼料や衛生管理にこだわり、愛情と日々のたゆまぬ努力で、健康な乳牛から乳質の高い生乳を搾乳し、そこから風味や栄養素を損なわない低温殺菌ノンホモ牛乳や、乳酸菌で丹念に発酵した無添加ヨーグルト「伊都物語」を消費者の皆様にお届けしております。	

◆会員名	伊藤中小企業診断士事務所		
◆代表者役職氏名	代表 伊藤 栄樹		
◆所在地	福岡市西区生の松原3-24-28		
◆TEL	092-883-3553	◆URL	http://www.joho-fukuoka.or.jp/kigyo/hideki/
◆FAX	092-884-0417	◆E-mail	hideki_j@hkg.odn.ne.jp
◆主要業務	安全衛生管理システム(OH&SMS)や環境マネジメントシステム(ISO14001)品質マネジメントシステム(ISO9001)の導入、運用、業務改善、管理職・人材の育成などをつうじて企業の強化発展を支援する。		
◆当社の特色と 会又は会員企業への 希望について	日本の企業の今後の発展は海外との関係を密接にする必要があるが、経験のない企業は敷居が高いと感じ、具体的な支援を求めている。これに対応し、中小企業の海外進出の支援を行うため、コンサルタント業も海外取引その他の経験を積む必要がある、と考え中国でのアンテナショップ開設や輸出案件を持って会員になりました。		

会員企業紹介

社団法人 福岡貿易会 2010年1月発行

◆会員名	福岡運輸システムネット株式会社		 <p>国内物流 国際物流</p> <p>福岡の品質とジャスト・イン・タイムの輸送サービスを提供することが私たちの使命と考えています。</p> <p>釜山新港田川を物流の拠点として、グローバル化が進む企業の物流ニーズに対応いたします。</p>
◆代表者役職氏名	代表取締役社長 山口 善久		
◆所在地	福岡市博多区空港前2丁目2番26号		
◆TEL	092-621-6931	◆FAX	092-624-4588
		◆URL	http://www.fukuokaunyu-sn.com/
◆主要業務	<ul style="list-style-type: none"> ・(国内物流) 一般貨物輸送、小口混載輸送 ・(国際物流) 輸入商品の保管・検品・仕分・配送、通関代行 		
◆当社の特色と 会又は会員企業への 希望について	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地に19営業所を設置し、一般貨物輸送においては全国5,000事業者とのネットワークを活用して、輸送する商品の特性、ロットに合わせた様々な車輛を用意し効率的な輸送サービスを提供しています。 ・国際物流では韓国の手物流企業と合併で釜山国際物流センター(BIDC)を設立。 <p>釜山新港に(一般15,000坪、危険物2,000坪)、上海に(一般1,000坪)の倉庫を保有し、保管・検品・仕分・配送まで、国際複合一貫輸送サービスを提供しています。</p>		

◆会員名	新路有限会社		
◆代表者役職氏名	代表 田中旬一		
◆所在地	福岡市中央区舞鶴1丁目2番1号 天神陽明ビル2階		
◆TEL	092-714-3005	◆FAX	092-714-7828
		◆E-MAIL	info@pekin2180.com
◆主要業務	①中国語学校 ②翻訳(中国語・日本語) ③コンサル(留学、中国ビジネス等)		
◆当社の特色と 会又は会員企業への 希望について	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 北京に本社をもつ「本当に話せるようになる」中国語学校です。 企業派遣実績：旅行社、貿易会社、専門学校、銀行、官公庁、弁護士事務所等。 ◎ 日中両言語使用のポータルサイト「ニーハオセンター」は中国語でも御社情報の掲載可能です。 <p>◆掲載料金 1言語は無料、2言語は有料(お問合せ: info@nihaocenter.com)</p>		

福岡貿易会事務所

〒812-8505 福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
福岡商工会議所ビル7F
TEL:(092)452-0707 FAX:(092)452-0700
E-MAIL:info@fukuoka-fta.or.jp
ホームページ <http://www.fukuoka-fta.or.jp/>

上海事務所

中華人民共和国上海市盧湾区淮海中路398号 世紀巴士大廈9階
TEL:+86-21-6385-8815 FAX:+86-21-6385-8806
E-MAIL:fukuoka-city@fukuokash.com.cn

発行・編集/ 社団法人 福岡貿易会
デザイン・印刷/ (株)西日本高速印刷



この印刷物は自然環境保護のために再生紙を使用しています。
また、大豆油インキを使用しております。